

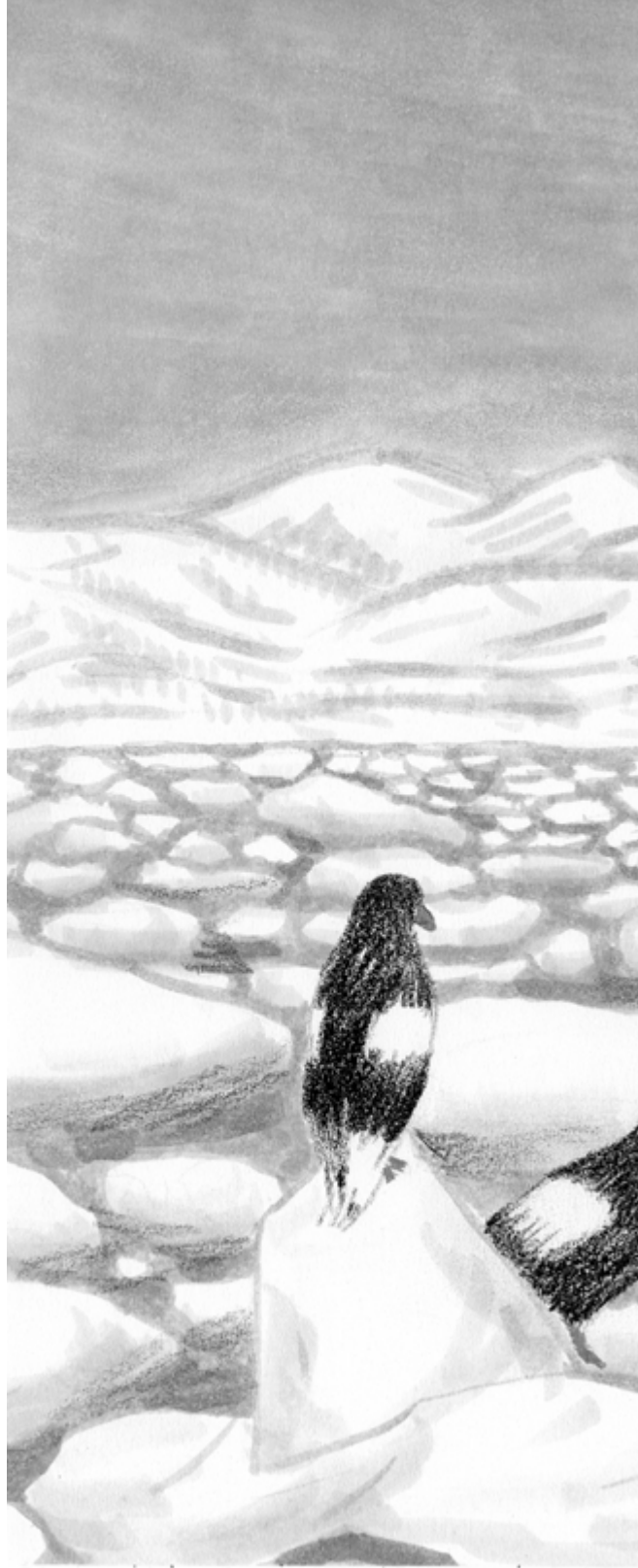
第17回

クジラとクマと 人が共生する 雄大な自然

先日、「おクジラさま」というドキュメンタリー映画を見た。江戸時代から続く捕鯨によって暮らしてきたその町の人たちは、普段の仕事と暮らしを営んでいるだけのことなのだが、世界でいろいろな賛否が巻き起こっている。映画からはクジラの問題を通して、日本や世界で起こっている価値観や考えの違いから起きる、たくさんの争いの根源が透けて見える。また、海の環境問題、それに続く食の安全も盛り込まれている。気候変動や環境汚染は、私たちのすぐ目の前までに迫っているのだと深く感じ、考えさせられる映画だった。

そして、話は飛んで少し前に行った台湾でのこと。小さな熊の絵本がきっかけで、台湾黒熊保育協会を訪ねた。台湾黒熊はツキノワグマと同じ仲間で、同じく絶滅危惧種だ。保育協会では長年、黒熊の保護をしており、2018年～今年にかけて、山で保護した小熊を野生に返すプロジェクトを初めて行ったという。小熊はすでに野生に戻り、順調に大きくなっている。振り返れば、日本では熊の出没が相次いでいる。気候変動で山の木の実が不作だそう。食べ物を探して出没してしまうのか。そう思うと、切なくなってしまう。

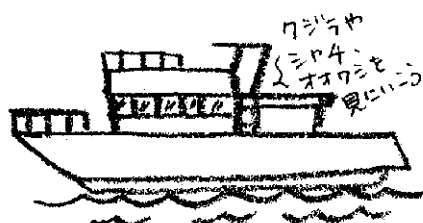
数年前に訪れた夏の知床、海で大きなシャチが悠々と泳ぎ、道路脇の森の中に熊がいたり、雄大な自然の中では、主人公はそこに住む動物たちだなあと考えたことを思い出した。そして、いつか流氷とともに渡ってくるオオワシを見に、冬の知床に行きたいなあと思っているのだが、気候変動で流氷が年々少なくなっていると聞いている。毎年この時期は、流氷のことが気になって仕方がない。



すずき もも

イラストレーター・絵本作家／スローフードさっぽろリーダー

東京生まれ、北海道夕張育ち。広告や雑誌、カレンダーなどのイラストを描くほか、イラストで綴る町案内の本や絵本などを執筆。ほか、「スローフードさっぽろ」を2016年に立ち上げ、食を中心に環境や暮らしの大事に取り組んでいる。著書に絵本「はるとなつ はたけのごちそうなーんだ？」（アリス館）「おいしい大地、北海道」（イースト・プレス）がある。近著に絵本「はたけのごちそうなーんだ？ くだもの」（アリス館）がある。モットーは4つのS。「Simple, Slow, Small, Smile: ささやかに、ゆっくり、ほどほどに、にこにこ」。



知床ネイチャークルーズ
エブークロ号で一年を
通じ海の大自然を堪能
できます！ツアーもいろいろ
羅臼町にあります！

知床世界遺産センター
斜里町ウトロにあります。
知床の情報がたくさん
あるので一度は寄りた
隣には道の駅シリエトクが
あります。



冬は
しっかり
防寒
してね！



知床はユネスコの
世界遺産です！